

社団法人日本心理学会 平成 21 年度 4 月常務理事会議事録

日 時 平成 21 年 4 月 18 日（日）9 時 30 分—12 時
会 場 （社）日本心理学会事務局会議室
出席者 岩崎庸男理事長，小嶋祥三，繁榊算男，鈴木直人，日野林俊彦，
横田正夫各常務理事，
（事務局 鈴木厚子，仮澤 亮）
議 長 岩崎庸男（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会（3 月 14 日開催）の議事録について，一部修正の上，承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

(1) 日本心理学諸学会連合報告

岩崎理事長より，日本心理学諸学会連合について報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より，3 月 1 日—3 月 31 日の会員異動状況について，新入会員 82 名，退会者 205 名，
逝去者 1 名，3 月 31 日現在の会員数（賛助会員を除く）7 310 名との報告があった。

3. 委員会報告

(1) 心理学ワールド編集委員会

小嶋広報担当常務理事より，3 月 21 日に開催された心理学ワールド編集委員会での“心理
学ワールド”のホームページ掲載についての報告があった後，46 号，47 号企画案の確認を行
なった。

(2) 国際心理学会議招致準備委員会

繁榊常務理事（委員会委員長）より，4 月 11 日に開催された国際心理学会議招致準備委員
会について報告があり，業務を委託する業者を決定したことが報告された。

4. その他

(1) 理事選挙報告・理事長選挙状況報告

小嶋広報担当常務理事（選挙管理委員長）より，3 月 28 日に開票された理事選挙の結果と，
4 月 18 日に開催される理事長選挙の状況について報告された。

(2) 日韓の協力関係の件

小嶋国際担当常務理事より，日韓の協力関係について報告があり，協定書の内容と調印式
の日程について説明があった。メール送信・ホームページ掲載し，韓国心理学会での発表を
呼びかける情報をメール送信・ホームページ掲載し，会員に伝えることとなった。

(3) 医療心理師国家資格制度推進協議会について

横田常務理事より，4 月 16 日に開催された医療心理師国家資格制度推進協議会総会につい
て報告があり，国資格問題について懇談した。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 22 件のうち，正会員入会審査規程 2(1)，(2)に該当する者 19 名を一括
承認し，残る 3 件について資料に基づき審査を行い，2(3)に該当する者 1 名，2(4)に該当す
る者 2 名を入会可とした。

2. 委員会委員の件

繁樹編集担当常務理事より、優秀論文賞選考委員会委員および委員長の選任について提案があり、承認された。また小嶋広報担当常務理事より、広報委員会の委員長について、次期理事より選任したい旨の提案があった。

3. 規程の改定および基金化に伴う新規規程の整備の件

鈴木総務担当常務理事より正会員入会審査規程の改正について提案があり、承認された。また、財産の基金化に伴い、国際交流基金に関する規程の改正および認定心理士教育研修基金に関する規程、広報啓発基金に関する規程、国際会議招致基金に関する規程、会員等管理システム基金に関する規程、退職金積立金に関する規程の制定について提案があり、一部文言を修正の上、承認された。これら規程の改正および制定を、6月理事会に諮ることとした。

4. 国際会議等旅費補助申請の件

小嶋国際担当常務理事より、国際会議参加者への国際会議等旅費補助申請3件について提案があり、減額の上、承認された。

5. 日韓協定書の件

小嶋国際担当常務理事より、日韓の国際交流に関する英文の協定書について提案があり、承認された。

6. 倫理規程の件

繁樹倫理担当常務理事（委員会委員長）より、倫理規程の外部レビューの意見に基づき修正し、理事会に諮ることが提案され、承認された。

7. “Japanese Psychological Research” の韓国心理学会会員への無償閲覧サービスについて

繁樹編集担当常務理事より、“Japanese Psychological Research” を韓国心理学会会員に対して、試験的に1年間、無償でウェブ公開する旨の提案があり、承認された。

8. 協賛依頼

- (1) 日本知能情報ファジィ学会より、“第25回ファジィシステムシンポジウム”への協賛依頼があり、承認された。

9. その他

- (1) 非常勤職員賃金等規則の改定について

日野林財務担当常務理事より非常勤職員賃金規則を実情に合わせて修正するとの提案があり一部修正の上、承認された。

以上

社団法人日本心理学会平成 21 年度 5 月常務理事会議事録

日 時 平成 21 年 5 月 24 日（日）9 時 30 分—13 時 50 分
場 所 同志社大学会議室
出席者 岩崎庸男理事長，小嶋祥三，繁樹算男，鈴木直人，日野林俊彦，横田正夫各常務理事
（事務局 鈴木厚子）
議 長 岩崎庸男（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会（4 月 18 日開催）の議事録について，一部修正の上，承認した。

II. 報告事項

1. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より，4 月 1 日—4 月 30 日の会員異動状況について，新入会員 95 名，退会者 33 名，逝去者 1 名，4 月 30 日現在の会員数（賛助会員を除く）7 371 名との報告があった。

(2) その他

2. 委員会報告

(1) 編集委員会

繁樹編集担当常務理事（委員会委員長）より，5 月 16 日に開催された編集委員会について報告があった。

(2) 認定委員会

横田認定担当常務理事（委員会委員長）より，4 月 25 日に開催された認定委員会および認定心理士に準拠した教科書作成委員会(第 3 回)について報告された。また，5 月 23 日に行われた研修委員会で，2009 年度研修会は大会の他 1 回，2010 年度以降は 4 回程度行うことが話し合われたとの報告があった。

(3) 優秀論文賞選考委員会

横田常務理事（優秀論文賞選考委員会委員長）より，5 月 16 日に開催された優秀論文賞選考委員会について審査方法，第 1 次審査対象論文および審査者を決定したことが報告された。

(4) 倫理委員会

繁樹倫理担当常務理事（委員会委員長）より，3 月 1 日に開催された倫理委員会について報告された。

(5) 国際心理学会議招致準備委員会

繁樹常務理事（委員会委員長）より，5 月 9 日開催の国際心理学会議招致準備委員会について報告があった。

3. その他

(1) 理事長・常務理事選挙報告

小嶋常務理事（選挙管理委員会委員長）より，4 月 18 日に開票された，理事長・常務理事選挙の結果が報告された。

(2) 決算・会計監査報告

日野林財務担当常務理事より，決算，5 月 8 日に行われた公認会計の監査，および 5 月 19 日の監事による監査結果について報告があった。

(3) 日中・日韓・日露等の協力関係の件

小嶋総務担当常務理事より，第 73 回大会における日中共同企画シンポジウムの内容詳細，日韓協定書の日本語修正版の件，および 5 月 7 日のロシア心理学会の副会長らと懇談し，日露の協力関係に前向きであった件，について報告があった。

(4) その他

鈴木総務担当常務理事より、立教大学現代心理学部心理学科のホームページに日本心理学会ホームページ“執筆・投稿の手びき”掲載ページをリンクする件について確認があり、承認したことが報告された。また、10月の公開シンポジウム企画の現状について説明があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった45件のうち、正会員入会審査規程2(1), (2)に該当する者44名を一括承認し、残る1件について資料に基づき審査を行い、2(4)に該当する者1名入会可とした。

2. 理事会・総会次第の件

理事会・総会の次第および事業報告、収支予算書、規定の整備について内容の確認・検討を行い、理事会の議事進行についての審議を行った。

3. 委員会委員の件

(1) 心理学ワールド編集委員会

新委員長の選任をまって決定することが承認された。

(2) 編集委員の増員について

繁樹編集担当常務理事（委員会委員長）から担当編集委員の負担が増しているため11月の交替時に4名の増員することが提案され、承認された。

4. 倫理規程について

繁樹倫理担当常務理事（委員会委員長）から倫理規程の最終案が示され、理事会で最終案として諮ることが承認された。さらに、冊子作成に当たり、3社からの相見積もりの説明があり、依頼先を決定した。

5. 名誉会員の推戴の件

鈴木総務担当常務理事から名誉会員として羽生義正先生を推戴したいとの提案があり、推戴することが承認された。

6. 終身会員の承認の件

鈴木総務担当常務理事から終身会員候補10名の提案があり、承認された。

7. 日韓 International Conference の発表者の件

小嶋国際担当常務理事から韓国心理学会時に開催される International Conference の発表者の推薦があり承認された。

8. 国際会議旅費補助申請の件

小嶋国際担当常務理事からオセロで開催される、第11回ヨーロッパ心理学会議に出席予定の会員1名について、減額の上、旅費補助をする旨の提案があり承認された。

9. 協賛・共催依頼

鈴木総務担当常務理事から、昨年と同様カラーフォーラム JAPAN 2009 の協賛の提案があり承認された。

10. 転載依頼

鈴木総務担当常務理事より、論説資料保存会から転載許可願のあった以下の論文について提案があり、転載が承認された。

針生悦子・趙麗華（2007）有声音と無声音を大小に対応づける感覚の起源——
擬音語理解の日中比較—— 心理学研究, 78, 424-432

以上

社団法人日本心理学会平成21年度7月常務理事会議事録

日 時 平成21年7月20日(日) 18時30分—21時40分
場 所 (社)日本心理学会事務局会議室
出席者 繁榎 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明, 箱田 裕司,
横田 正夫各常務理事
(事務局 鈴木 厚子)
議 長 繁榎 算男(理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会, 理事会および総会(6月6日開催)の議事録について, 一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

繁榎理事長から6月27日の日本心理学緒学会連合常任理事会について報告があった。諸学会連合の理事長・理事の選挙で, 新役員を候補者として立てることについて, 申し入れをすることとした。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 6月1日—6月30日の会員異動状況について, 新入会員26名, 退会者8名, 逝去者2名, 6月30日現在の会員数(賛助会員を除く)7420名との報告があった。

(2) その他

事務局より, 6月29日に文部科学省に定期報告書を送ったとの報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事(委員会委員長)より7月11日に開催された編集委員会の報告があった。

(2) 認定委員会

横田認定担当常務理事(委員会委員長)より, 6月17日開催の認定委員会小委員会, 6月20日に開催された認定委員会研修委員会および認定委員会の報告があった。認定委員会研修委員会において, 2010年度には3回の講演会, シンポジウムを行うことになった。また, 認定心理士に準拠した教科書作成委員会から, 目次の決定をもって終了するとの報告があった。さらに, 認定心理士サービス向上のため, 認定委員会のホームページを充実する小委員会を立ち上げるとの報告があった。

(3) 優秀論文賞選考委員会

横田常務理事(委員会委員長)から7月11日に開催された優秀論文賞選考委員会の報告があった。

(4) 倫理委員会

繁榊理事長（前倫理委員会委員長）から倫理規程刊行についての報告があった。大会時には刊行予定であること、刊行されれば運用について、至急規程の細則を作成する必要があることが確認された。

(5)心理学ワールド編集委員会

箱田編集担当常務理事から6月13日開催の心理学ワールド編集委員会で編集された、心理学ワールド48号企画について報告があった。

(6)国際心理学会議招致準備委員会

繁榊理事長（委員会委員長）から6月19日の国際心理学会議招致準備委員会の報告があった。

4. その他

(1) 各常務理事の仕事分担と各委員会委員長の確認

繁榊理事長から常務理事の仕事の分担、各委員会委員長について報告があり、日本心理学諸学会連合およびIUPsySの代表等についても確認した。

(2) 日韓心理学会協定書調印の件

繁榊理事長から韓国心理学会（KPA）の大会初日（8月24日）に調印式が行われる予定であるとの報告があった。

(3) 日中共同シンポジウム招待者

繁榊算男理事長より中国心理学会から日本心理学会大会へ3名の方をご招待するとの報告があった。今後、相互に招待する条件（経費等の負担のあり方）を決定する必要があるとの意見がだされ、決定していく方向で各国と話し合いを行うこととした。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった26件のうち、正会員入会審査規程2(1)、(2)に該当する者24名を一括承認し、残る2件について資料に基づき審査を行い、2(2)に該当する者1名、2(4)に該当するもの1名を入会可とした。

2. 理事会次第の件

仁平総務担当常務理事から、理事会の次第について提案があり一部修正の上、再度メール会議で確認することとした。

3. “Japanese Psychological Research” への招待論文の依頼について

箱田編集担当常務理事から、大会時招待特別講演者に論文の執筆を依頼する件について提案があり、編集委員会から推薦し依頼することになった。

4. 認定心理士会援助金覚書について

高木財務担当常務理事から認定心理士会への援助金の件で、認定心理士会から覚書を取り交わしたいとの申し出があったとの報告があり、これまでの経緯について説明があった。審議の結果、同援助金に関連して問題点とそれに基づく前期常務理事会の決定の経緯について、両機関の代表

者と関係する常務理事による正式な話し合いを持ち、その結果に基づいて、今期常務理事会の意向を決定し、次年度の予算案に反映させていくこととした。

5. 国際会議旅費補助について

丹野国際担当常務理事から国際会議旅費補助の依頼のあった3件中2件について減額の上、旅費補助をする旨の提案があり、承認された。

6. 協賛・共催依頼の件

仁平総務担当常務理事から協賛依頼3件について提案があり、承認された。

7. 転載・ホームページ掲載依頼の件

仁平総務担当常務理事から、転載依頼2件、ホームページ掲載依頼6件について提案があり、承認された。

8. 今期執行部の課題について

繁樹理事長から今期の目標について提案があり、意見交換を行った。

社団法人日本心理学会平成21年度7月常務理事会議事録

日 時 平成21年7月20日(日)18時30分—21時40分
場 所 (社)日本心理学会事務局会議室
出席者 繁榎 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明, 箱田 裕司,
横田 正夫各常務理事
(事務局 鈴木 厚子)
議 長 繁榎 算男(理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会, 理事会および総会(6月6日開催)の議事録について, 一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

繁榎理事長から6月27日の日本心理学緒学会連合常任理事会について報告があった。諸学会連合の理事長・理事の選挙で, 新役員を候補者として立てることについて, 申し入れをすることとした。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 6月1日—6月30日の会員異動状況について, 新入会員26名, 退会者8名, 逝去者2名, 6月30日現在の会員数(賛助会員を除く)7420名との報告があった。

(2) その他

事務局より, 6月29日に文部科学省に定期報告書を送ったとの報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事(委員会委員長)より7月11日に開催された編集委員会の報告があった。

(2) 認定委員会

横田認定担当常務理事(委員会委員長)より, 6月17日開催の認定委員会小委員会, 6月20日に開催された認定委員会研修委員会および認定委員会の報告があった。認定委員会研修委員会において, 2010年度には3回の講演会, シンポジウムを行うことになった。また, 認定心理士に準拠した教科書作成委員会から, 目次の決定をもって終了するとの報告があった。さらに, 認定心理士サービス向上のため, 認定委員会のホームページを充実する小委員会を立ち上げるとの報告があった。

(3) 優秀論文賞選考委員会

横田常務理事(委員会委員長)から7月11日に開催された優秀論文賞選考委員会の報告があった。

(4) 倫理委員会

繁榊理事長（前倫理委員会委員長）から倫理規程刊行についての報告があった。大会時には刊行予定であること、刊行されれば運用について、至急規程の細則を作成する必要があることが確認された。

(5)心理学ワールド編集委員会

箱田編集担当常務理事から6月13日開催の心理学ワールド編集委員会で編集された、心理学ワールド48号企画について報告があった。

(6)国際心理学会議招致準備委員会

繁榊理事長（委員会委員長）から6月19日の国際心理学会議招致準備委員会の報告があった。

4. その他

(1) 各常務理事の仕事分担と各委員会委員長の確認

繁榊理事長から常務理事の仕事の分担、各委員会委員長について報告があり、日本心理学諸学会連合およびIUPsySの代表等についても確認した。

(2) 日韓心理学会協定書調印の件

繁榊理事長から韓国心理学会（KPA）の大会初日（8月24日）に調印式が行われる予定であるとの報告があった。

(3) 日中共同シンポジウム招待者

繁榊算男理事長より中国心理学会から日本心理学会大会へ3名の方をご招待するとの報告があった。今後、相互に招待する条件（経費等の負担のあり方）を決定する必要があるとの意見がだされ、決定していく方向で各国と話し合いを行うこととした。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった26件のうち、正会員入会審査規程2(1)、(2)に該当する者24名を一括承認し、残る2件について資料に基づき審査を行い、2(2)に該当する者1名、2(4)に該当するもの1名を入会可とした。

2. 理事会次第の件

仁平総務担当常務理事から、理事会の次第について提案があり一部修正の上、再度メール会議で確認することとした。

3. “Japanese Psychological Research” への招待論文の依頼について

箱田編集担当常務理事から、大会時招待特別講演者に論文の執筆を依頼する件について提案があり、編集委員会から推薦し依頼することになった。

4. 認定心理士会援助金覚書について

高木財務担当常務理事から認定心理士会への援助金の件で、認定心理士会から覚書を取り交わしたいとの申し出があったとの報告があり、これまでの経緯について説明があった。審議の結果、同援助金に関連して問題点とそれに基づく前期常務理事会の決定の経緯について、両機関の代表

者と関係する常務理事による正式な話し合いを持ち、その結果に基づいて、今期常務理事会の意向を決定し、次年度の予算案に反映させていくこととした。

5. 国際会議旅費補助について

丹野国際担当常務理事から国際会議旅費補助の依頼のあった3件中2件について減額の上、旅費補助をする旨の提案があり、承認された。

6. 協賛・共催依頼の件

仁平総務担当常務理事から協賛依頼3件について提案があり、承認された。

7. 転載・ホームページ掲載依頼の件

仁平総務担当常務理事から、転載依頼2件、ホームページ掲載依頼6件について提案があり、承認された。

8. 今期執行部の課題について

繁樹理事長から今期の目標について提案があり、意見交換を行った。

社団法人日本心理学会平成 21 年度 8 月常務理事会議事録

日 時 平成 21 年 8 月 25 日 (火) 14 時—16 時

会 場 ホテルグランヴィア京都 金葉の間

出席者 繁榎 算男理事長, 高木 修, 仁平 義明, 箱田 裕司, 横田 正夫各常務理事
(事務局 鈴木 厚子)

議 長 繁榎 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (7 月 20 日開催) の議事録について, 一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

(1) 日韓心理学会協定書調印式について

8 月 24 日に開催された日韓心理学会の協定書調印式について報告があった。

(2) 資格問題について

日本心理学諸学会連合, 医療心理師国家資格制度推進協議会および臨床心理職国家資格推進連絡協議会の三者協議が行われたとの報告があった。詳細は理事会で紹介することとした。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 7 月 1 日—7 月 31 日の会員異動状況について, 新入会員 24 名, 退会者 9 名, 逝去者 2 名, 7 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) 7 433 名との報告があった。

(2) 登記について

事務局より, (社) 日本心理学会の登記が 2009 年 7 月 30 日に完了したことが報告された。

3. 委員会報告

(1) 認定委員会

横田認定担当常務理事(委員会委員長)より, 8 月 22 日に開催された研修委員会および認定委員会について報告があった。また, 研修会について, 認定心理士全員に郵送, メールで連絡することとなった。

なお, 日本認定心理士会のホームページについて, 独自のホームページを作ってもらよう同会へ依頼し, 必要があれば日本心理学会のホームページからリンクを張ることとした。

(2) 優秀論文賞選考委員会

横田常務理事(委員会委員長)より, 8 月 1 日に開催された優秀論文賞選考委員会について授賞者が決定した旨, 報告があった。

(3) 将来構想検討委員会

仁平将来構想担当常務理事より, 7 月 25 日に開催された将来構想検討委員会専門委員長会議につ

いて、アンケート結果について検討したことが報告された。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった14件のうち、正会員入会審査規程2(1)、(2)に該当する者12名を一括承認し、残る2件について資料に基づき審査を行ない、2(2)に該当する者1名、2(4)に該当する者1名を入会可とした。

2. 理事会次第の件

繁樹理事長より、理事会の次第について説明があり、議事進行について審議した。

3. 会員集会次第について

繁樹理事長より、会員集会の次第について説明があり、議事進行について審議した。

4. 委員会・委員について

繁樹理事長より、8月25日付で特別委員会“公益社団法人化検討委員会”の設置について提案があり、承認された。また、心理学ワールド編集委員の交替、広報委員、情報化委員の追加について提案があり、承認された。

5. 倫理問題について

仁平倫理担当常務理事(委員会委員長)より、倫理規程が8月26日に施行され、有効になると、問題発生時の対応が必要になる。このため、“倫理問題の処理に関する内規(細則)”の早急な決定が必要との提案があり、承認された。

6. 公開シンポジウム・講演会について

仁平総務担当常務理事から10月25日の公開シンポジウムの内容の提案があり、承認された。第2回は東北地区で行うこととなった。また、12月5日の認定心理士研修会について横田認定担当常務理事から説明があった。

7. 転載・ホームページ掲載依頼の件

仁平総務担当常務理事から、ホームページ掲載依頼の6件について提案があり、承認された。

社団法人日本心理学会平成 21 年度 9 月常務理事会議事録

日 時 平成 21 年 9 月 27 日（日）10 時—14 時 30 分

会 場 （社）日本心理学会事務局会議室

出席者 繁榊算男理事長，高木 修，丹野義彦，仁平義明，箱田裕司，
横田正夫各常務理事
（事務局 鈴木厚子）

議 長 繁榊算男（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会，理事会（8 月 25 日開催）の議事録について一部修正の上，承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

(1) “三団体（日本心理学諸学会連合，医療心理師国家資格制度推進協議会，臨床心理職国家資格推進連絡協議会）による資格問題についての会談”（8 月 11 日）について報告があった。

(2) 日本心理学諸学会連合常任理事会・資格委員会についての報告があった。

(a) 日本心理学会常務理事会から問題提起をする。

(b) 検定がつつがなく終わり，1 700 名余りであった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より，8 月 1 日—8 月 31 日の会員異動状況について，新入会員 16 名，退会者 2 名，その結果，8 月 31 日現在の会員数（賛助会員を除く）は 7 447 名との報告があった。

(2) その他

実地調査の改善点についての報告書 9 月末までに文部科学省に提出する旨の報告があり，質疑応答を行った。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事(委員会委員長)より，9 月 26 日に開催された機関誌編集委員会について，報告があった。

(2) 認定委員会

横田認定担当常務理事(委員会委員長)より，8 月 22 日に開催された認定委員会について報告があった。

(3) 心理学ワールド編集委員会

箱田編集担当常務理事より，9 月 19 日に開催された心理学ワールド編集委員会につ

いて、報告があった。

(4)将来構想検討委員会全体会議

仁平総務担当常務理事より、8月26日に開催された2009年度第1回将来構想検討委員会全体会議について、報告があった。

(5)公益社団法人化検討委員会

仁平総務担当常務理事（委員会委員長）より、8月28日に開催された第1回公益社団法人化検討委員会について、報告があり、9月26日に第2回委員会を行なったとの報告もあった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より、8月末時点での財務状況について、報告があった。

5. その他

(1)医療心理師国家資格制度推進協議会

9月25日開催の第2回総会において、特に、資格の基本コンセプト4点（資格の名称、資格の性格、医療機関において、受験資格者）について話し合われたとの報告があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった10件のうち、正会員入会審査規程2(1), (2)に該当する者10名を一括承認した。

2. 委員会・委員について

各担当常務理事より、編集委員会委員（箱田編集担当常務理事）、認定委員会委員（横田認定担当常務理事）、国際委員会委員（丹野国際担当常務理事）の交替について提案があり、承認された。

3. 認定心理士への倫理規程送付の件

横田認定担当常務理事より、8月26日に刊行された倫理規程を認定心理士に送付する旨の提案があり、承認された。

4. 公開シンポジウムについて

仁平総務担当常務理事より、2010年度の公開シンポジウムの内容について提案の依頼があった。次回も継続審議とする。

5. 国際会議旅費補助について

丹野国際担当常務理事より、国際会議旅費補助申請のあった3件中2件についてはそのまま、1件は減額の上、旅費補助をする旨の提案があり、承認された。また、韓国心理学会のシンポジウムにシンポジストとして参加した先生方の旅費についても補助することが確認された。

6. ホームページ掲載依頼

ホームページ掲載依頼が6件あり、全て承認された。

7. その他

(1)大会のあり方，研究集会のあり方について

繁榊理事長より，大会等のあり方，財政についての提案と，学会企画のプログラムを充実し，プログラム委員会等のノウハウが蓄積されていくようにする必要性がある旨の提案があり，10月常務理事会で継続審議（第74回，75回大会委員長を迎えて）することとなった。

IV. その他

1. 国家資格についての日本心理学会の対応

繁榊理事長より，医療心理師国家資格制度推進協議会のカリキュラムを検討する会議に横田認定担当常務理事が出席することが提案され，承認された。

2*. 日本心理学会の広報活動について

行場広報・情報化委員長より，これからのホームページ等のあり方の説明後，情報の流れについて提案があり，一部修正の上，承認された。さらに，積極的に日本心理学会からの情報発信を進める旨の報告があった。また，会員・認定心理士へのメール配信も活発にしたいとの意向が表明された。

3. 認定心理士会との関係について

認定心理士会との関係について，今期常務理事会の以下の方針を確認した。

(1) 認定心理士会は（社）日本心理学会（以下，日本心理学会とする）から独立した，個別の組織である。

(2) 独立した，個別の組織であるから，独立採算制で運営されるのが原則である。

(3) 日本心理学会には，“認定心理士”資格を認定している立場から，その資格の質と水準を維持・保証するために，資格取得者に対してアフターケアを行う社会的責任がある。

もし，認定心理士会が独自に企画し，実施する講演会・講習会・ワークショップ等が，日本心理学会のその社会的責任遂行に寄与すると評価でき，実施費用を補助する必要があると判断した時は，財政的支援を行う。

社団法人日本心理学会平成 21 年度 10 月常務理事会議事録

日 時 平成 21 年 10 月 25 日（日）16 時—20 時

会 場 （社）日本心理学会事務局会議室

出席者 繁榎算男理事長，高木 修，丹野義彦，仁平義明，箱田裕司，横田正夫各常務理事事務局（鈴木厚子）

議 長 繁榎算男（理事長）

I. 議事録の確認

前回の常務理事会，理事会（9 月 27 日開催）の議事録について一部修正の上，承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

9 月 24 日に物理学会を訪ね公益法人化について情報交換を行ったことが報告された。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より，9 月 1 日—9 月 30 日の会員異動状況について，新入会員 3 名，退会者 1 名，逝去者 2 名，その結果，9 月 30 日現在の会員数（賛助会員を除く）は 7 447 名との報告があった。

3. 委員会報告

(1) 公益社団法人化検討委員会

仁平総務担当常務理事（委員会委員長）から 9 月 26 日第 2 回委員会のコンサルティング依頼候補業者からのプレゼンテーションについて，その後の経過，10 月 20 日の質疑応答および 10 月 25 日午前中にあった第 3 回委員会についての報告があった。またコンサルティング会社の選定についても説明があった。

(2) 倫理委員会

仁平総務担当常務理事（委員会委員長）から 10 月 17 日の倫理委員会について報告があった。倫理委員会細則の倫理委員会案を近く公開する。

(3) 将来構想検討委員会専門委員長会議

仁平総務担当常務理事から将来構想検討委員会専門委員長会議についての報告があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より 9 月末（上半期）財務状況について報告があった。

5. その他

(1) 横田認定担当常務理事より，医療心理師国家資格制度推進協議会のカリキュラムを検討する会議についての報告があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった5件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者5名を承認した。

2. 委員会委員について

横田認定担当常務理事から認定委員会の委員に1名推薦、丹野国際担当常務理事から国際委員会委員として2名の推薦があり承認された。箱田編集担当常務理事からは10月常務理事会承認後変更のあった委員について報告があり承認された。また、仁平総務担当常務理事から情報化委員会委員の4名の委員が10月末で満期をむかえるが、その後の委員の人数等について行場委員長に相談の上、委員の推薦を依頼することとなった。

3. 公益社団法人化協力企業選定

仁平総務担当常務理事（委員会委員長）からの経過報告および10月25日午前中に行われた公益社団法人化検討委員会についても説明があり、コンサルティング会社の選定について提案があり承認された。

4. 公開シンポジウムについて

仁平総務担当常務理事から2010年度の公開シンポジウムについての提案があり、審議の結果、次回継続審議とすることになった。原則として全国4か所から6か所で開催することとした。

5. 研究会助成について

丹野常務理事から研究会助成について4件の申請があり承認したい旨の提案があり、承認された。

規程の検討が必要との問題提起があった。次回、継続審議とした。

6*. 大会のあり方について

第74回大会三浦利章会長、第75回大会山田 寛事務局長出席のもと、丹野常務理事の提案に基づき、大会準備委員会と日本心理学会との関係について打ち合わせを行った。

大会のあり方

(1)大会の予算は、黒字の場合返還、赤字はその原因が妥当と判断できる場合には補填する。

(2)大会のプログラム編成について、大会プログラムは原則として主催校が計画するが、日本心理学会と合同でのプログラム企画については、日本心理学会は案を早めに提出する。

(3)大会開催のノウハウが蓄積され連続性が保たれるように、大会終了後、大会運営のマニュアルなどは事務局が預かり、次の開催校に引き継ぐ。

7. 国際会議旅費補助について

丹野国際担当常務理事から1件の申請があったが、2回目で前回補助を受けているので今回の申請については補助を見送るとの提案があり、承認された。

8. 協賛・共催依頼

仁平総務担当常務理事より2件の協賛依頼についての提案があり、承認された。

9. 転載依頼・ホームページ掲載

仁平総務担当常務理事より転載依頼 3 件・ホームページ掲載依頼 6 件について提案があり、承認された。

10. その他

(1) 繁榘理事長より American Psychological Science(A P S)との協力関係について提案があり、承認された。詳細は次回繁榘理事長から提案予定。

社団法人日本心理学会 平成 21 年度 11 月常務理事会議事録

日 時 平成 21 年 11 月 28 日 (土) 13 時 30 分—18 時
場 所 (社) 日本心理学会事務局会議室
出 席 者 繁樹 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明, 箱田 裕司各常務理事
(事務局 鈴木 厚子)
議 長 繁樹 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (10 月 25 日開催) の議事録について一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

日本心理学諸学会連合の議事録について説明があった。また, 12 月 15 日までに“国資格をめぐる日本心理学諸学会連合の方針 (案)”について審議することになった。役員選挙については新理事が決まっていれば被選挙権は新理事, 選挙権は現理事になっていることが確認された。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 10 月 1 日—10 月 31 日の会員異動状況について, 新入会員 10 名, 退会者 3 名, 逝去者 4 名, その結果, 10 月 31 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7 450 名との報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事 (委員会委員長) より, 11 月 14 日開催の編集委員会について報告があった。また, “Japanese Psychological Research” 50 周年記念号作成にあたって, 著者のキーワード等の設定に問題があるとの指摘があった。新委員の追加の 1 名が決定した件, “Japanese Psychological Research のあり方検討小委員会” (以下, “リサーチのあり方小委員会” とする) と “電子化に伴う執筆・投稿の手びき改訂小委員会” (以下, “手びき改訂小委員会” とする) を立ち上げる件についての報告があった。

(2) 認定委員会

横田認定担当常務理事 (委員会委員長) からの報告書について, 仁平総務担当常務理事より報告があった。

(3) 倫理委員会

仁平総務担当常務理事 (委員会委員長) より, 11 月 22 日開催の倫理委員会について報告があった。

(4) 国際賞選考委員会

丹野国際担当常務理事より, 11 月 14 日開催の国際賞選考委員会について報告があった。国際賞応募要領は 11 月 16 日にホームページに掲載し, 1 月 31 日を応募締め切りとする。

(5) 公益社団法人化検討委員会

仁平総務担当常務理事 (委員会委員長) より, 11 月 23 日開催の公益社団法人化検討委員会について報告があった。執行部体制と選挙制度について審議した旨の報告があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より, 10 月末現在の財務状況の報告があった。

5. 第 74 回大会準備委員会との打ち合わせについて

高木財務担当常務理事より, 11 月 28 日午前中に行われた第 74 回大会準備委員会との打ち合わせについての報告があった。レセプションを大会前日行うことになった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 11 件のうち, 正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 7 名, 2(2)に該当する者 3 名, 2(4)に該当する者 1 名を承認した。

2. 委員会・委員について

(1) 横田認定担当常務理事より, 認定委員会委員に 3 名の追加の推薦があり承認された。

(2) 丹野国際担当常務理事より、国際賞選考委員会委員の満期が全て2010年3月交替になってしまうため、2008年就任の委員は規程によらず1年延長するとの提案があり承認された。

(3) 仁平総務担当常務理事より、情報化委員会委員4名が満期となったが新委員は2名追加する旨の提案があり承認された。

3. 日本心理学諸学会連合からの“国資格をめぐる日本心理学諸学会連合の方針(案)”について
繁樹理事長より、日本心理学諸学会連合からの方針案について説明があり、業務の内容とカリキュラムについて要望をまとめることとなった。

4. 倫理委員会規程変更 および 倫理問題の処理に関する細則 について

仁平総務担当常務理事より“社団法人日本心理学会倫理委員会規程”の変更と“社団法人日本心理学会倫理委員会規程‘倫理問題の処理に関する細則’”について提案があり承認された。

5. 総務・財務委員会から

(1) 第73回大会通信費等補助について

高木財務担当常務理事より、第73回大会会長から通信費等の経費が当初の見積もり額を大幅に超える請求があったため追加補助依頼があり認めざるを得ないとの提案があり承認された。

(2) 認定心理士研修会の経費

高木財務担当常務理事より、12月5日に福岡で行われる研修会の費用についての報告があり承認された。

(3) 職員賞与について

高木財務担当常務理事より、事務局職員および非常勤職員の賞与について提案があり承認された。

6. 公開シンポジウムについて

仁平総務担当常務理事より、今まで提案があった内容について再度検討するとの提案があり承認された。

7. 研究会助成について

丹野国際担当常務理事より提案されていた内容について、再審議の結果“研究集会等助成規程”の文言を一部修正の必要はあるが当分の間、現状の年2回の募集、3月末までの報告とすることとした。

8. 協賛・共催依頼

仁平総務担当常務理事より、協賛依頼1件について提案があり、承認された。

9. 転載・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、ホームページ掲載依頼2件について提案があり、承認された。

10. その他

(1) The Association for Psychological Science (APS)との協力関係について

繁樹理事長より、韓国心理学会等との協定を参考に協定書を作成するとの提案があり、理事長に一任することとなった。

(2) 第74回大会での日本心理学会企画

繁樹理事長より“日本心理学会の国際化”をテーマに海外から講演者を招聘するとの提案があり承認された。

社団法人日本心理学会 平成 21 年度 12 月常務理事会議事録

日 時 平成 21 年 12 月 19 日(土) 13 時 30 分—17 時 50 分
場 所 (社) 日本心理学会事務局会議室
出席者 繁榊 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明, 箱田 裕司,
横田 正夫各常務理事
(事務局 鈴木 厚子)
議 長 繁榊 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会(11 月 28 日開催)の議事録について一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

(1) 会員集会を成果のあるものにするため, これまで大会で行っていた会員集会を大会の前日の夜に行う計画であるとの報告があった。

(2) The Association for Psychological Science (APS)と協定を結ぶことについて検討中であるとの報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 11 月 1 日—11 月 30 日の会員異動状況について, 新入会員 10 名, 退会者 8 名, 逝去者 3 名, その結果, 11 月 30 日現在の会員数(賛助会員を除く)は 7 449 名との報告があった。会員数を増やす件について, 意見交換を行った。

3. 委員会報告

(1) 認定委員会

横田認定担当常務理事(委員会委員長)より, 12 月 12 日開催の認定委員会, および認定心理士教科書作成委員会について報告があった。また, 12 月 5 日の認定心理士会研修会について, 参加者は心理学会会員 19 名, 認定心理士 101 名, 一般 18 名であったとの報告があった。

(2) 広報・情報化委員会

仁平総務担当常務理事より, 12 月 13 日に広報委員会と情報化委員会の合同委員会が開催されたとの報告があった。2009 年度は密接に関係して活動するため, 合同で委員会を開催すること, 2010 年度から両委員会を一本化したいとの意見があったこと, 副委員長をおくこと, ホームページレイアウト設計小委員会(仮称)を立ち上げること, 今後, 会員宛に定期的にメールで情報を送信すること等が報告された。

(3) 国際委員会

丹野国際担当常務理事より, 12 月 6 日開催の国際委員会について報告があった。2010 年度の日韓・日中合同シンポジウムについて現在検討中との報告があった。

(4) 心理学ワールド編集委員会

箱田編集担当常務理事より, 12 月 12 日開催の心理学ワールド編集委員会について報告があった。50 号刊行記念号の企画について検討中との報告があった。

(5) 公益社団法人化検討委員会

仁平総務担当常務理事(委員会委員長)より, 12 月 13 日開催の公益社団法人化検討委員会について報告があった。

(6) その他

箱田編集担当常務理事より, “リサーチのあり方”, “手びき改訂” 両小委員会を立ち上げたとの報告があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より, 11 月末現在の財務状況の報告があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 10 件のうち, 正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 9 名, 2(2)に該当する者 1 名を承認した。

2. 委員会について

仁平総務担当常務理事より、広報委員会副委員長を永井 淳一氏・情報化委員会副委員長を日比野 治雄氏にとの提案が、また、横田認定担当常務理事より認定心理士教科書作成委員会の委員長を久野 雅樹氏、副委員長を横山 昭一氏をとの提案があり承認された。

3. 心理学研究・心理学ワールドの契約更新について

箱田編集担当常務理事より“心理学研究”、“心理学ワールド”の制作について相見積もりを取ったとの報告があった。

4. 公益社団法人化今後の方針について

仁平総務担当常務理事より、業者からの現状分析について確認した上で、今後の申請に向けて引き続きコンサルティングを依頼することが提案され、承認された。公益法人化に伴う、“執行部体制・選挙制度の見直し”についてのアンケート内容を確認し、2010年1月に発送することを決定した。

5. 公開シンポジウムについて

仁平総務担当常務理事より、公開シンポジウムについて箱田常務理事から提案のあった、“IQとEI”を2010年度の公開シンポジウムとして開催するとの提案があり承認された。

6. 協賛・共催依頼

仁平総務担当常務理事より、後援依頼1件、共催依頼1件について提案があり、承認された。

7. 転載・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、ホームページ掲載依頼4件について提案があり、承認された。

社団法人日本心理学会平成 21 年度 1 月常務理事会議事録

日 時 平成 22 年 1 月 23 日(土) 14 時 30 分—17 時 30 分
場 所 (社)日本心理学会事務局会議室
出席者 繁榎 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明, 箱田 裕司,
横田 正夫各常務理事
(事務局 鈴木 厚子)
議 長 繁榎 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会(12月19日開催)の議事録について一部修正の上,承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

(1) 12月23日開催の日本心理学諸学会連合の理事会について報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より,12月1日—12月31日の会員異動状況について,新入会員11名,退会者5名,その結果,12月31日現在の会員数(賛助会員を除く)は7455名との報告があった。

(2) その他

心理学研究のアーカイブ化についての覚書を取り交わしたことが報告された。

3. 委員会報告

(1) 将来構想検討委員会

仁平総務担当常務理事より,12月20日開催の将来構想検討委員会について報告があった。

(2) 公益社団法人化検討委員会

仁平総務担当常務理事(委員会委員長)より,12月19日および1月23日に開催された公益社団法人化検討委員会について報告があった。

(3) Japanese Psychological Research のあり方検討小委員会

箱田編集担当常務理事より,1月9日開催の“Japanese Psychological Research のあり方検討小委員会”について報告があり,小委員会委員長に坂田 省吾氏が選出されたことが報告された。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より,12月末現在の財務状況の報告があった。

5. その他

(1) “認定心理士認定手引き”の改訂

横田認定担当常務理事(委員会委員長)より,“認定心理士資格申請の手引き”を分冊化したとの報告があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった15件のうち,正会員入会審査規程2(1)に該当する者11名,2(2)に該当する者1名を一括承認し,残る3件について資料に基づき審査を行い,2(4)に該当する者3名を入会可とし

た。

2. 社団法人日本心理学会倫理委員会規程“倫理問題の処理に関する細則”について

仁平総務担当常務理事（委員会委員長）より，“社団法人日本心理学会倫理委員会規程‘倫理問題の処理に関する細則’”の修正について提案があり，承認された。

3. 公益社団法人化コンサルティング業務委託契約書について

仁平総務担当常務理事（委員会委員長）より，1月23日に行われた公益社団法人化検討委員会で検討された，公益社団法人化コンサルティング業者との契約の提案があり，承認された。

4. 公開シンポジウムについて

高木常務理事より，2010年度の公開シンポジウムについての提案があり，承認された。

テーマ“利他性の心理と行動——思いやりの根源とその意義を探る——”

5. 委員会・委員について

箱田編集担当常務理事より，優秀論文賞選考委員会委員の交代について提案があり，承認された。

6. “心理学研究”，“心理学ワールド”の制作会社について

箱田編集担当常務理事より“心理学研究”および“心理学ワールド”の制作会社の変更について提案があり，承認された。

“心理学研究”は金子書房，“心理学ワールド”は新曜社とすることとなった。

7. 国際会議旅費補助申請について

丹野国際担当常務理事より，国際会議旅費補助申請のあった1件について減額の上，補助することが提案され承認された。

8. 会員集会について

仁平総務担当常務理事より2010年度の会員集会について，9月19日（大会前日）の理事会の後，日本心理学会業務の紹介の他，優秀論文賞・国際賞の授賞式，優秀論文賞授賞者研究紹介も含めて行うことが提案され，承認された。会員への参加者募集（先着70名）をホームページに掲載（3月後半）することとなった。

9. 第73回大会決算について

高木財務担当常務理事より，第73回大会の決算承認についての提案があり，一部修正のうえ，承認された。

10. 協賛・共催依頼

仁平総務担当常務理事より，協賛依頼1件について提案があり，承認された。

11. 転載・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より，転載依頼2件について提案があり，承認された。

また，4件のホームページ掲載依頼のうち2件を掲載，他の2件は掲載しない旨の提案があり，承認された。

社団法人日本心理学会平成 21 年度 2 月常務理事会議事録

日 時 平成 22 年 2 月 20 日(土)13 時 30 分—17 時 30 分
場 所 (社) 日本心理学会事務局会議室
出席者 繁榎 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明, 箱田 裕司,
横田 正夫各常務理事
(事務局 鈴木 厚子)
議 長 繁榎 算男(理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会(1 月 23 日開催)の議事録について一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

- (1) 2 月 21 日に日本心理学諸学会連合資格・教育合同委員会が開催されるとの予告があった。
- (2) オーストラリア心理学会会長モンゴメリー氏から来日についての連絡があり, 常務理事会・国際委員会で対応するとの報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より, 1 月 1 日—1 月 31 日の会員異動状況について, 新入会員 15 名, 退会者 4 名, 逝去者 1 名があり, その結果, 1 月 31 日現在の会員数(賛助会員を除く)は 7 465 名との報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事(委員会委員長)より, 1 月 30 日開催の編集委員会および 2 月 13 日開催の電子化に伴う執筆・投稿の手びき改訂小委員会について報告があった。

(2) 公益社団法人化検討委員会

仁平総務担当常務理事(委員会委員長)より, 1 月 23 日および 2 月 20 日開催の公益社団法人化検討委員会について報告があった。

(3) 認定委員会

横田認定担当常務理事(委員会委員長)より, 1 月 30 日開催の認定心理士研修小委員会について報告があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より, 1 月末現在の財務状況の報告があった。

5. 公開シンポジウムについて

仁平総務担当常務理事より, 東北会場にて 1 月 31 日開催の公開シンポジウムについて, 参加者 104 名(うち会員 26 名, 認定心理士 25 名)との報告があった。

III. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった 205 件のうち, 正会員入会審査規程 2(1)に該当する者 154 名, 2(2)に該当する者 40 名, 2(3)に該当する者 1 名, 2(4)に該当する者 10 名を入会可とした。

2. 委員会・委員について

丹野国際担当常務理事より、李 光五会員を国際委員として推薦するとの提案があり、承認された。韓国心理学会会員の日本心理学会大会への参加者の窓口を引き続き依頼することとした。

3. 韓国心理学会との交流

丹野国際担当常務理事および箱田常務理事より、韓国心理学会との合同シンポジウムについて提案があり、承認された。また、韓国心理学会でのシンポジウムの講演依頼について提案があり、承認された。

4. 理事会の議題について

仁平総務担当常務理事より、第4回（3月14日開催予定）理事会の議案について提案があり、一部修正の上、承認された。

5. 終身会員について

仁平総務担当常務理事より、終身会員候補者について提案があり、承認された。

6. 諸規程改訂の基本方針について

仁平総務担当常務理事より、公益社団法人化に伴う諸規程の改訂について、その方針が提案され、常務理事が分担して確認・修正することが承認された。

7. 基金規程の改訂について

仁平総務担当常務理事より、基金規程の修正方針が提案され、承認された。

8. 予算編成方針について

高木財務担当常務理事より、2010年度予算編成方針が示され、承認された。

9. 公開シンポジウム・認定心理士研修会について

高木常務理事および箱田常務理事より、2010年度の公開シンポジウム開催予定について提案があり、承認された。また、横田認定担当常務理事より、2010年度認定心理士研修会開催予定について提案があり、承認された。

10. 電子投稿システムについて

箱田編集担当常務理事より、電子投稿システムについてサンビプロダクトセンターから国際文献印刷社への変更の提案があり、承認された。

11. オーストラリア心理学会との協力協定について

繁樹理事長より、オーストラリア心理学会との協力協定について提案があり、協定を締結することが承認された。

12. 協賛・共催依頼

仁平総務担当常務理事より、後援依頼1件について提案があり、承認された。

13. 転載・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、転載依頼4件、ホームページ掲載依頼4件について提案があり、承認された。

社団法人日本心理学会平成 21 年度 3 月常務理事会議事録

日 時 平成 22 年 3 月 14 日(日) 10 時 30 分—14 時
場 所 (社) 日本心理学会事務局会議室
出席者 繁榎 算男理事長, 高木 修, 丹野 義彦, 仁平 義明, 箱田 裕司,
横田 正夫各常務理事
(事務局 鈴木 厚子)
議 長 繁榎 算男 (理事長)

I. 議事録の確認

前回の常務理事会 (2 月 20 日開催) の議事録について一部修正の上, 承認した。

II. 報告事項

1. 理事長報告

(1) いわゆる“承認料”の公益性について、日本心理学諸学会連合から回答があったという報告があった。

(2) 国資格についての日本心理学諸学会連合の最近の動きについて報告があった。

2. 事務報告

(1) 会員異動

事務局より、2 月 1 日—2 月 28 日の会員異動状況について、新入会員 61 名、退会者 189 名、逝去者 2 名、その結果、2 月 28 日現在の会員数 (賛助会員を除く) は 7 335 名との報告があった。

3. 委員会報告

(1) 編集委員会

箱田編集担当常務理事 (委員会委員長) より、3 月 6 日開催の編集委員会および“Japanese Psychological Research”のあり方検討小委員会について報告があった。編集委員会企画の英語論文の書き方ワークショップを大会時に開催することが報告された。

(2) 認定委員会

横田認定担当常務理事 (委員会委員長) より、2 月 27 日開催の認定委員会および認定心理士教科書作成小委員会について報告があった。

(3) 将来構想検討委員会

丹野常務理事より、3 月 4 日開催の将来構想検討委員会について報告があった。最終報告書案について常務理事会の意見を求めるため、4 月 18 日の常務理事会に田島委員長が出席し質疑をしたいとの依頼があり、4 月 18 日の最初に審議することになった。

(4) 心理学ワールド編集委員会

箱田編集担当常務理事より、3 月 7 日開催の心理学ワールド編集委員会について報告があった。

51 号から、頁数等も変わり表紙も一新するとの報告があった。

(5) 公益社団法人化検討委員会

仁平総務担当常務理事 (委員会委員長) より、3 月 8 日開催の公益社団法人化検討委員会について報告があった。また、新定款、新定款細則および新諸規程改訂について現在検討中との報告があった。

4. 財務報告

高木財務担当常務理事より、2 月末現在の財務状況の報告があった。

Ⅲ. 審議事項

1. 入会審査

新規申請のあった6件のうち、正会員入会審査規程2(1)に該当する者4名、2(2)に該当する者1名、2(4)に該当する者1名を入会可とした。

2. 委員会・委員について

箱田編集担当常務理事より、優秀論文賞選考委員として清水 寛之編集委員の推薦が、仁平総務担当常務理事より広報委員として、李 光五、重野 純、野村 理朗、亀田 達也各会員の推薦が、丹野国際担当常務理事より国際委員として、桑野 園子、積山 薫、大坊 郁夫各委員の推薦があり、承認された。

3. 理事会の議題について

仁平総務担当常務理事より、第4回(3月14日午後開催)理事会の議案について提案があり、一部修正の上、承認された。

4. 会員集会について

繁柵理事長より、会員集会について提案があり、一部修正の上承認された。

5. オーストラリア心理学会との協力協定について

繁柵理事長より、オーストラリア心理学会との協力協定についての提案があり、承認された。

6. 事務局人事

仁平総務担当常務理事より、事務局人事について提案があり、承認された。

7. 協賛・共催依頼

仁平総務担当常務理事より、協賛依頼1件について提案があり、承認された。

8. 転載・ホームページ掲載依頼

仁平総務担当常務理事より、転載依頼1件について提案があり、承認された。